

令和6年度事業報告書

(期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日)



目 次

◆総括――――――――――――――――――――――――	2
◆トピックス――――――――――――――――――――	2
◆法人経営――――――――――――――――――――	3
◆各種会議および委員会活動――――――――	9
◆財務ハイライト――――――――――――――――	12
◆経営分析参考指標――――――――――――――	13
◆職員の状況――――――――――――――――	14
◆事業の開始および廃止――――――――――	17
◆新規建設・大規模修繕等――――――――	17
◆行政監査の結果――――――――――――	18
◆虐待および身体拘束の状況――――――	19
◆事故の発生状況――――――――――――	21
◆法人研修――――――――――――――――	24
◆事業所の状況――――――――――――	25
◆地域における公益的な取組の状況――――	28
◆各事業部からの報告(別紙)――――――	29

※令和6年度社会福祉法人虹の会事業報告については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

社会福祉法人 虹の会

◆総括

急速な高齢化、人口減少、経済状況など社会情勢の変化により、福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。制度においては報酬改定の年度でもあり、改定に伴う運営基準の遵守や新たな処遇改善を含めた加算の適切な取得に努めてきました。安定した法人経営を目指す中で、事業計画に沿った運営を法人全体としては概ね予算どおり執行することが出来ました。

令和6年度は第3期中期経営計画(令和6年度～令和8年度)の初年度として、理念「共に生きる」のもと「選ばれる法人・選ばれる事業所」を経営ビジョンに掲げ、4つ(利用者・人財・法人マネジメント・地域)に対する姿勢を柱に事業を進めてきました。支援の質の向上を目指した取り組みを基本に置き、事業所では地域とのつながりや関係機関との連携の中で新たな取り組みも始めました。また、利用者の高齢化に伴う新たな課題から、今後は高齢者介護についての知識を深め、法人内での受け入れ体制を検討する必要があると考えています。

令和8年度には法人設立30周年を迎えます。これまでの振り返りを行うとともに、その先の虹の会のあるべき姿を考えていく上で大事な時期であると捉え、法人設立30周年準備委員会の立ち上げやブランディング戦略の強化に向けた取り組みを始めました。

「高島・安曇川地域包括支援センター」の事業につきましては、初年度ですが、地域に認知され公益的な機関としての運営を行うことが出来ました。

◆トピックス

1 ぱれっと竣工

4月より児童発達支援事業を開始し、昨年度から運営を行う放課後等デイサービス事業との多機能型の「ぱれっと」としてスタートしました。5月9日入札から工事開始、11月30日に木の香りが漂う建屋が完成、12月13日竣工式を経て新しい建屋に子どもたちを迎え事業を行っています。

2 宿鴨竣工

24時間体制GHの需要および高齢化する利用者ニーズの高まりを受け、いろいろの定員を拡大し(10名→20名へ)、高島地域に新たなGH宿鴨(10名)を開設することになりました。地域住民への説明会・改修工事・利用者契約・竣工神事等を経て、令和7年4月1日に開所することが出来ました。

3 高島市障がい者相談支援センターコンパス移転

平成24年度からコンパスの運営が始まり、今津町老人福祉センター内に事務所を置き業務を行ってきました。令和7年4月1日より、旧新旭保健センター(市役所南側)に移転することになり準備を進めてきました。相談室がある、駅に近い、市役所とコンパスとの連携がよりスムーズになる等、相談支援の拠点としてのより良い環境が整いました。

4 資金運用

安定的な財務管理のため、資金運用規程の策定および資金運営計画を作成し「滋賀県第3回サステナビリティ・リンク・ボンド公募公債」を購入しました。

◆法人経営

1. 役員会等

適切で透明性の高い法人経営を推進するため、経営の決断・執行・監督の充実に努め、以下の役員会等を開催しました。

(1) 理事会

回	開催日	議案	可否	出席状況
1回	4月4日	ぱれっと新築工事入札指名業者選定	可決	6/7 2/2
2回	6月22日	定款一部変更 文書管理規程一部変更 正職員給与等支給規則一部変更 嘱託職員給与等支給規則一部変更 短時間職員給与等支給規則一部変更 令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)事業報告書、計算関係書類および財産目録承認 令和6年度補正予算書 令和6年度第1回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	7/7 2/2
3回	8月25日	経理規程一部変更 資金運用規程制定 令和6年度資金運用 土地および建物取得 令和6年度補正予算書 定款一部変更 令和6年度第2回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	7/7 2/2
4回	11月4日	定款施行細則一部変更 嘱託職員給与等支給規則一部変更 短時間職員給与等支給規則一部変更 会社役員賠償責任保険加入 令和6年度補正予算書 令和6年度第3回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決	7/7 2/2
5回	12月28日	正職員就業規則一部変更 定年再雇用職員就業規則一部変更 正職員給与等支給規則一部変更 育児休業及び介護休業等に関する規則一部変更	可決 可決 可決 可決	7/7 2/2
6回	3月15日	定款一部変更 正職員就業規則一部変更 嘱託職員就業規則一部変更 短時間職員就業規則一部変更	可決 可決 可決 可決	7/7 2/2

	アルバイト就業規則一部変更 正職員給与等支給規則一部変更 嘱託職員給与等支給規則一部変更 短時間職員給与等支給規則一部変更 育児休業及び介護休業等に関する規則全部改正 令和6年度補正予算書 令和7年度事業計画 令和7年度収支予算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで) 令和6年度第4回評議員会招集 第三者委員選任 施設長等解任	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	
--	--	--	--

◎決議の省略

※理事会の決議があったものとみなされた日

令和6年5月9日

※理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第2号議案 ぱれっと新築工事契約締結

◎関連当事者間の取引

※当法人は、社会福祉法人会計基準により公表すべき関連当事者間の取引はありません。

(2)評議員会

回	開催日	議案	可否	出席状況
1回	6月18日	定款一部変更 令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)事業報告書、計算書類(貸借対照表および収支計算書)および財産目録承認 令和6年度補正予算書	可決 可決 可決	7／8 2／2
2回	9月10日	定款一部変更 令和6年度補正予算書	可決 可決	8／8 2／2
3回	11月14日	令和6年度補正予算書	可決	7／8 1／2
4回	3月26日	定款一部変更 令和6年度補正予算書 令和7年度事業計画 令和7年度収支予算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)	可決 可決 可決 可決	7／8 2／2

2. 監事監査

事業および会計の執行を監査し、その結果を報告および公表することにより、法人の健全かつ透明性の高い運営に資することを目的に監事による監査を実施しました。

回	開催日	内容	監査意見
1回	5月21日	令和5年度 事業報告・ 計算関係書類および財産目録の監査	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。 ・計算関係書類および財産目録については法人の財産、収支および純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。
2回	10月23日	令和6年度 事業中間報告等・会計中間状況等の監査	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。 ・計算関係書類および財産目録については法人の財産、収支および純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。

口頭指示および改善報告

事項	口頭指示	改善報告	結果
事業(活動)状況、施設・事業の運営管理状況	防災訓練について 職員向けにスマートフォン、LINE等のアプリを活用した緊急連絡網の訓練をすること。	令和7年度拠点BCP・緊急連絡網を活用した訓練を実施予定です。	継続
事業(活動)状況、施設・事業の運営管理状況	災害時の連絡網で状況を確認すべき場合もあるので、担当者(連絡者)を決めておいたらどうか。	管理職の緊急連絡網および各拠点緊急連絡網を作成しました。また、災害時に生活拠点へ出動する職員体制を整理しました。	終結
その他	職員安否確認システムの導入を検討すること。	BCP(事業継続計画)の作成にあたり、職員の参集基準および安否確認について検討しました。システムの導入について各企業より情報収集をしています。	継続
会計資産の管理	交通事故の未然防止のため、日頃から車両の適正管理のため、軽微な損傷も速やかに補修し、安全運転への	全車両の損傷について確認し、修繕対象の有無を判断しました。また、修繕が必要な車両については	終結

状況	意識高揚を図ること。	修繕または予算計上しました。	
法人及び事業の会計状況(予算の編成状況)	当初予算の立案を妥当性のあるものにすること。	予算作成にあたり最終補正をもとに事業計画に沿って各科目での積算根拠を試算し、また適宜見積を取得して作成します。	終結
法人及び事業の会計状況(出納・財務の状況)	1年以上の長期にわたる未収金(大地利用者給食費37,200円、わになろう送迎費用2,400円)の回収の処理方法について検討すること。	未収金の処理方法について検討し、回収しました。	終結
その他	登記事項等において、手続で必要な公印押印にあたっては、個別に起案決裁し、書類確認と進捗管理に努めること。	登記事項等において、手續で必要な公印押印にあたっては、個別に起案決裁し、書類確認と進捗管理を標準化します。	終結
その他	車輌事故が減少していない実態から利用者の安全は当然のことと、法人の信頼確保が課題となる。職員に安全意義の徹底を図ること。	安全運転の意識を徹底するため、全職員に向けた理事長メッセージの配信や運転開始前の唱和、車輌運転前後の点検などを徹底しました。	終結

3. 第三者委員全体会および事業所訪問

虹の会が提供する福祉サービスおよび苦情の対応等が適切であったか等の検証および助言を受け、意見交換等を行うため4月16日と10月7日に第三者委員全体会を開催しました。令和5年度下半期および令和6年度上半期において発生した苦情の報告と第三者委員による事業所訪問での気付き等を中心に意見交換を行いました。

(1) 第三者委員全体会

回	開催日	内容	出席委員
1回	4月16日	・事業所訪問活動報告 ・各事業所苦情受付の検証等 ・令和6年度上半期への助言	3名
2回	10月7日	・事業所訪問活動報告 ・各事業所苦情受付の検証等 ・令和6年度下半期への助言	2名

(2) 事業所訪問

- ◎令和6年3月4日(月) 10:00～12:00 ドリーム
- ◎令和6年3月5日(火) 13:00～15:00 ハーモニー
- ◎令和6年3月12日(火) 13:00～15:00 大地
- ◎令和6年9月18日(水) 10:00～12:00 ドリーム
- ◎令和6年9月19日(木) 13:00～15:00 アイリス
- ◎令和6年9月20日(金) 9:30～11:30 マーブル

(3) 苦情内容と対策

事業所	内容	対応・解決策
コンパス	チャレンジド高島のコーチを申し出ているが返答がない	監督・関係機関と申し出について協議、チャレンジド高島の運営方針を伝え、コーチとしてではなく、先ずはお手伝いから始めることについて理解を得ました。
わになろう	国民健康保険証と医療福祉費受給者証が返却されていない(所在不明)	通院支援時には「保険証等チェック表」を用いて双方が確認することを徹底した。また、顛末書を後見人へ提出し再発行を依頼しました。
だんだん	支援中の発言により不快な思いをしたので、支援者を外してほしい	支援について現状分析を行い、支援方法について改めて専門家の意見を取り入れ支援マニュアルを整備しました。また、人権意識を高めるための研修を実施しました。
ひまわり生活の家	安曇川町飲食店にて入居者の無銭飲食	本人が叔父に連絡し支払いを済ませました。今後、同様のことがあった際の連絡先としてホーム携帯番号を伝えました。本人への支援については緊急時のお金を所持し、生活費を本人が管理できるよう家計簿の記載支援等を行っています。

※令和6年度苦情発生件数4件

4. 中期経営計画評価委員会

第2中期経営計画の評価委員会を開催し、令和5年度下期および令和5年度評価を行いました。本評価委員会を以て第2期中期評価委員会は終結し、令和3年度から令和5年度までの年度評価を取りまとめ、評価表をホームページで公開しました。

第3期中期経営計画の評価委員(外部3名、内部6名)を新たに選任しました。新たな評価委員による令和6年度上期評価委員会を開催し、各項目に沿った報告に対してそれぞれ評価委員より意見を求め、評価を取りまとめました。

回	開催日	内容	出席委員
1回	4月22日	・令和5年度下期評価 ・令和5年度評価	8名
2回	10月16日	・第3期中期経営計画について ・第3期中期経営計画令和6年度上期の取り組み 報告および評価	9名

5. 資金運用会議

理事会の決議を受け、(1)資金運用にかかる計画に関すること、(2)有価証券(預貯金除く)にかかる売買に関すること、(3)その他、資金運用責任者が指示した事項について審議する資金運用会議を設置しました。

社会福祉法人の資金運用は、安全性確保が大前提であることを確認しました。また、事業継続と安定運営のため、流動性も重視し、低金利下でも収益性を考慮し、多様な金融商品への分散投資も検討していくことも確認しました。情報収集を密に行い、リスク管理を徹底し、長期的な視点で着実に資産形成を図ることを目的としています。

回	開催日	内容	出席委員
1回	9月12日	・資金運用規程 ・滋賀県サステナビリティ・リンク・ボンド債 ・今後の資金運用の考え方	5名

※出席者:理事長、理事、資金運用責任者、統括会計責任者、施設長
大和証券担当者2名(オブザーバー)

◆各種会議および委員会活動

1. 各種会議

法人の経営方針その他経営に関する事項および人事・人事評価・給与等を協議するため、また各拠点間連携をスムーズに図り事業を推進するため、情報共有・現状把握・課題検討等を以下 の会議で実施しました。

会議名	回数
運営委員会	20回
人事給与等委員会	4回
管理職会	14回

※理事長職務執行状況および業務執行理事職務執行状況参照

2. 委員会活動

(1)コンプライアンス委員会

目的
コンプライアンスを推進するための方策の決定、違反行為に対する対応策および再発防止の検討、コンプライアンス意識の向上を図るための研修等を実施する。
経過および成果
事業計画に沿って年間2回の委員会を開催しました。委員会では主に各事業所のコンプライアンス違反の恐れ等について情報共有を図りました。また、管理職向けにコンプライアンスチェックを実施し、結果の共有と対応等について情報交換しました。5Sチェックシートの実施と推進状況については現地訪問により確認し、併せて小口現金の取扱いについて監査を行いました。コンプライアンス意識の向上においては、IT顧問より「個人情報保護法」に基づく業務遂行について全職員対象のオンライン研修会を行いました。

(2)リスク管理委員会

目的
リスク管理に関して、利用者の安心・安全を確保すると共に、災害・感染BCP、事故防止、個人情報などの危機管理体制を構築する。
経過および成果

前年度の事故状況の分析により、転倒防止のアセスメントシート導入を行いました。また法人で管理する利用者名簿については統一様式を作成しました。(管理職会で提案するためのワーキングとしてリスク小委員会5回実施)その他、事業所内でのリスク軽減のための取組を再強化するため、危険因子の気づきを促す職場風土醸成のため「インシデント気づき啓発委員会」を立上げ(各事業所代表 3・4等級)年間を通してインシデントメモの活用と振返りを行うようにしました。個人情報の取り扱いについては、年に1回職員向け、管理職向けに意識調査を行い各事業所で適切に取り扱いが出来ているかの確認を行っています。災害・感染症に対するBCPの取り組みについては、指定基準上必要な研修や委員会活動等が行えるよう、単年度の事業計画に組み入れ実施できる体制を構築しました。利用者・家族が使うSNSの種類についてアンケート調査を実施し、災害時における法人からの情報発信の体制構築の検討を行いました。

(3)虐待防止委員会

目的
事業所内における虐待防止を図るため、職員の虐待防止意識の向上や虐待防止の取り組みを実施し、虐待のない施設環境づくりを目指す。
経過および成果
令和6年度は定例会議を6回、臨時会議を2回実施しました。令和6年8月に心理的虐待認定がなされ、改善計画に基づいた取組を実施しています。取組内容としてはこれまで作成してきた虐待防止の取り組みを再度確認・実施する、虐待防止チェックリストを新たに作成する(事務員用・管理職用)、心理的虐待のロールプレイ研修実施(虐待防止マネージャー作成)等、様々な取り組みを行い、意識向上へ繋げました。

※詳細は虐待および身体拘束の状況

(4)中期経営計画委員会(策定・評価)

目的
自主的・自立的な経営の確立と連携・協働による柔軟な福祉の展開を行うため、第3期中期経営計画を評価し、第4期中期経営計画を策定する。
経過および成果
第2期中期経営計画の令和5年度下期および年度評価を行い、結果をホームページで公表しました。第3期中期経営計画において、新たな評価委員(外部3名、内部6名)を選定・委嘱し、評価委員会前には内部評価委員へ中期経営計画を説明すると同時に評価委員に期待することや役割について説明しました。また、第3期中期経営計画の上期評価委員会を開催し、上期の取り組みに関する評価委員会の意見を集約しました。

(5)採用委員会

目的

法人が求める「将来的に活躍できる人材」の獲得および採用活動を通した職員育成、他法人連携を図る。また、広く福祉人材の育成に資することにより、法人のブランディングおよび採用活動を推進する。

経過および成果

年間計画に沿って定例会議を10回開催しました。外部の採用担当者やキャリアコンサルタントとの連携により、座談会や説明会の進め方・学生への対応などについての研修と実践練習を通じて質向上を図りました。県内の合同説明会へ13回、大学生や高校生向けの校内説明会に3回参加し、法人の魅力発信を行いました。

また、法人連携企画として、当法人初の他業種企業との合同インターンシップを開催しました。学生5名(うち、内定者1名)の参加があり、採用担当者が中心となって、学生に楽しんでもらいながら高島や法人の魅力を伝えました。採用へは繋がりませんでしたが、内定辞退防止としての効果がありました。

これらの活動を通して、採用担当者自身も新たな法人の魅力に気づき、通常業務では得られない経験をすることができています。

◎中期経営計画推進プロジェクト

目的

中期経営計画推進に必要な委員会およびプロジェクトを随時立ち上げ、中期経営計画の推進を図る。

経過および成果

地元金融機関に他圏域の情勢や物件についての情報収集を行いました。情報については本部と共有し情勢を把握しました。

どのようなニーズがあるのかを知るため先進的な事業を展開中の「あるきだす」(NPO法人縁活)への視察を行いました。

市内の企業と当法人が連携し、障がいのある方が一般就労するための新たなしくみについての情報交換や状況把握を市内企業担当者と打合せを行いました。次年度以降も継続して検討していく予定です。

令和7年度新人研修・階層別研修の受講者の選定や内部研修の内容について検討・準備を行いました。

◎実践報告プロジェクト

目的

事例を通じ学びを深め、取り組んだ実践を法人内外に向けて報告、学びによる支援のプロ集団化を目指す。

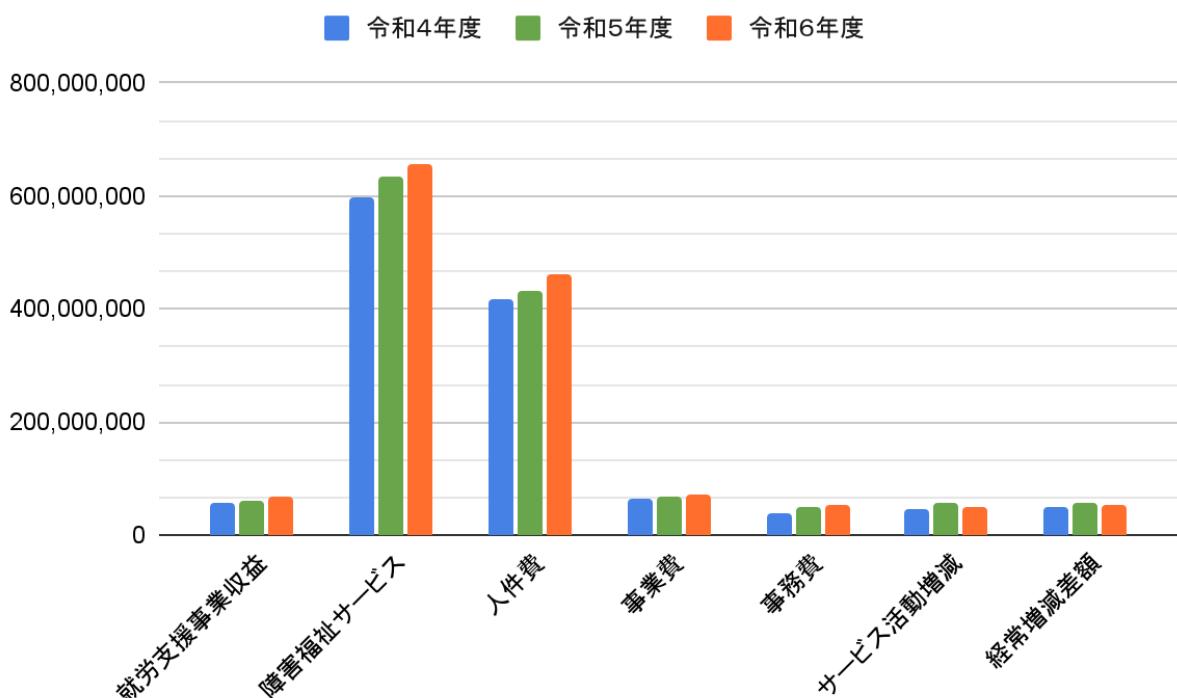
経過および成果

QC手法アドバイザーが、取り組む実践に応じて事業所の会議に参加し助言等を行いました。令和7年2月に実践報告会を開催しましたが、外部からの参加は関係機関10名となり、法人関係者を含め周知に課題が残りました。

◆財務ハイライト

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護保険事業収益	—	316,905	481,944
就労支援事業収益	56,209,049	59,479,000	68,599,088
障害福祉サービス等事業収益	598,665,303	635,693,344	657,745,516
人件費	418,008,869	430,485,409	461,350,441
事業費	66,340,753	67,112,387	71,987,322
事務費	39,817,502	51,443,531	52,455,347
サービス活動増減差額	46,169,418	56,446,011	50,652,302
経常増減差額	48,879,317	58,417,597	52,111,326



◆経営分析参考指標

指標銘	算式	指標の視点	参考指標※2	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サービス活動増減差額比率 (営業利益率)	(サービス活動増減差額÷サービス活動収益)×100	収益性 プラスである こと	1.55%	7.0%	8.1%	6.8%
経常増減差額率 (経常利益率)	(経常増減差額÷サービス活動収益)×100		2.00%	7.5%	8.4%	7.0%
人件費率	(人件費÷(※1))×100		66.9%	69.7%	67.3%	68.7%
経費率		合理性 費用	25.5%	17.7%	18.5%	18.5%
事業費率	(事業費÷(※1))×100		15.0%	11.1%	10.5%	10.7%
事務費率	(事務費÷(※1))×100		10.5%	6.6%	8.0%	7.8%
減価償却費率	(減価償却費+国庫補助金等特別積立金取崩額(マイナス値))÷サービス活動収益)×100		6.8%	4.1%	4.7%	4.3%
流動比率	(流動資産÷流動負債)×100	短期安定性 200%以上	318.0%	437.6%	429.7%	477.5%
純資産比率	(純資産÷資産の部合計)×100	長期安定性 高いほど良い	73.2%	91.7%	90.9%	91.1%
固定長期適合率	(固定資産÷(純資産+固定負債))×100	長期安定性 100%以下	82.8%	81.0%	78.8%	77.4%
事業活動資金収支差額率	(事業活動資金収支差額÷事業活動収入)×100	安定性 資金繰り	6.7%	11.9%	14.0%	11.8%

※1 サービス活動収益計－就労支援事業収益

※2 社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2024年度版)全国平均(WAM NET)

◆職員の状況(令和7年3月31日現在)

1. 人員表

(1) 事業所別職員数

	正職	嘱託	臨時	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
本部事務局	2	0	—	0	0	0	2	2	0
事務センター	3	0	—	1	1	0	5	1	4
わになろう	3	2	—	5	0	0	10	3	7
ひまわり生活の家	3	0	—	8	1	1	13	3	10
といろ	5	3	—	3	3	0	14	5	9
虹	1	2	—	1	0	0	4	0	4
コンパス(ホップ)	7	4	—	4	0	0	15	7	8
ハーモニー	9	2	—	8	2	1	22	6	16
アイリス	7	0	—	3	0	0	10	7	3
大地	4	4	—	3	0	0	11	5	6
あんです	3	1	—	5	2	0	11	2	9
だんだん	5	3	—	3	0	0	11	4	7
マーブル	1	2	—	1	1	0	5	2	3
ぱれっと	2	1	—	0	0	0	3	1	2
計	55	24	—	45	10	2	136	48	88

(2)職員数の推移

	正職	嘱託	臨時	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
令和4年度	48	13	9	56	5	3	134	49	85
令和5年度	51	24	—	50	6	2	133	52	81
令和6年度	55	24	—	45	10	2	136	48	88

2. 障害者雇用率

- ◎令和4年度 3.08 % 3名
- ◎令和5年度 2.90 % 3名
- ◎令和6年度 3.98 % 4名

3. 職員の状況

(1) 職員の状況推移

	正職員		非正職員	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
職員比率	40.5% (51/126人)	44% (55/125人)	59.5% (75/126人)	56% (70/125人)
平均勤続年数	10年4ヶ月	10年7ヶ月	6年9ヶ月	7年6ヶ月
平均年齢	41.35歳	37.98歳	55.34歳	56.35歳

※アルバイト10名、宿直職員(短時間)1名除く

(2) 時間外勤務の状況

	正職員	非正職員
令和4年度月平均時間外勤務	4.9時間	1時間
令和5年度月平均時間外勤務	4.9時間	1.3時間
令和6年度月平均時間外勤務	4.4時間	1.2時間

(3) 有休取得の状況

	正職員	非正職員
令和4年度平均取得率	83.5%	80.6%
令和5年度平均取得率	79.9%	86.1%
令和6年度平均取得率	84.7%	78.1%

※年度付与数に対する取得率(最大20日付与)

(4) 新卒採用活動の状況(採用委員会の活動含む)

昨年度に引き続きキャリアコンサルタントと連携し2025年卒の採用活動を実施しました。2つの採用サイト・ハローワークでの募集と滋賀県内開催の合同説明会に参加しました。

今年度より採用チームの若手職員が中心となり、積極的に合同説明会への参加や職場見学などの学生対応、更に当法人初となる他業種企業と合同でのインターンシップを企画運営し、新卒2名を

採用することができました。

また、採用活動や事業所の様子をリアルタイムの情報として発信するためInstagramなどのSNSで情報発信を実施しました。

	採用者数
令和2年度卒	1名
令和3年度卒	3名
令和4年度卒	3名
令和5年度卒	3名
令和6年度卒	2名

※新規採用者の定着率90.0%（令和2年度～令和5年度卒）

(5) 職員アンケート

第3期中期経営計画(2024-2026)では「法人理念、中期経営計画に基づき、経営方針や人材育成方針などの浸透を図る事」が3か年の取り組みの一つとして掲げられています。第3期中期経営計画より、職員へのアンケート内容を中期経営計画に沿った内容に刷新し、年度末にアンケート調査を実施しました。令和7年度はアンケート結果を踏まえ、法人理念、中期経営計画等の浸透や職員育成、職場環境の改善に取り組みます。

◆事業の開始および廃止

1. 事業の開始

(1)ぱれっと

指令	種別	事業所番号	有効期間
滋賀県	児童発達支援事業	2552200111	令和6年4月1日～ 令和12年3月31日

(2)ホップ

◎高島市精神障がい者デイケア事業

2. 事業の廃止

◎令和6年度事業の廃止はありませんでした。

◆新規建設・大規模修繕等

◎ぱれっと

工事名	ぱれっと新築工事
金額(税込み)	51,040,000円
補助金	なし
施行期間	令和6年5月15日～令和6年11月30日

◎といろ

工事名	グループホーム宿鴨 改修工事
金額(税込み)	8,984,555円
補助金	なし
施行期間	令和6年12月2日～令和7年3月10日

◆行政監査の結果

1. ぱれっと

日 時:令和6年10月30日

所轄庁:滋賀県

種別	指示事項等
文書指摘	・なし
口頭指摘	・なし
助言その他	・なし

2. といろ

日 時:令和7年1月23日

所轄庁:滋賀県

種別	指示事項等
文書指摘	・帰宅時支援加算の算定に当たっては、個別支援計画に基づき家族等の居宅において外泊した際当該利用者の居宅等における生活状況等を十分に把握するとともに、外泊に伴う家族との連絡調整、交通手段の確保等、要した支援の内容を適切に記録すること。また、記録していない日に算定した分については、過誤調整を行うこと。
口頭指摘	・預り金の管理について、通帳と印鑑の保管責任者は別々の職員にすること。
助言その他	・なし

改善結果

種別	改善事項
文書指摘	・事業所開所後の全ての帰宅時支援加算算定に伴う記録を確認し、過誤調整(-6,595円)を行いました。
口頭指摘	・通帳と印鑑の保管責任者を管理者と主任に分けました。

3. 計画相談支援センター虹

日 時:令和7年2月27日

所轄庁:高島市

項目	実地指導結果	改善事項	改善結果
従業者の配置について	兼務の相談支援専門員の当該事業所における勤務実績の記録が不十分であった。	すべての従業者について、事業所における勤務実績を記録し保管すること。	令和6年9月～令和7年2月の6か月の勤務実績を作成し保管しました。
重要事項説明書について	事故発生時の対応に関する記載がない。	事故発生時の対応について記載すること。	重要事項説明書に事故発生時の対応について記載しました。
掲示について	体制整備加算に関する事項が一部公表されていない。	すべての体制整備加算に関する事項について公表すること。	加算に関する事項について全てホームページで公表しました。
記録の整備について	基本報酬・各種加算の算定にかかる記録が一部不十分であった。	基本報酬・各種加算の算定にかかる記録について、必要な事項をもれなく記録し保管できるよう、取り扱いを見直すこと。	利用者情報やサービス提供留意事項の伝達を目的とした会議を週1回開催し、それを記録しました。

◎法人に対する行政監査はありませんでした。

◆虐待および身体拘束の状況

1. 虐待の状況

◎障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律に基づき、虐待認定を受けた件数は1件でした。

<虐待認定について>

* 認定結果「心理的虐待」:職員が発した言動が著しく利用者を傷つける言動であった。

* 改善計画内容

- ①人権意識・心理的虐待の内容について浸透していない
- ②利用者一人ひとりに応じた支援についての理解不足
- ③職場風土の醸成ができていない

2. 身体拘束の状況

事業所名	件数	内容等
アイリス	6件	A利用者3件、B利用者2件、C利用者1件に対する身体拘束であった。A利用者については自身のストレスも含めて、気持ちが高揚し、他害に繋がる恐れがあったため行動制止を行った。B利用者について、相性の悪い利用者へ攻撃する可能性が高かったため、行動制止を行った。C利用者については、他利用者の行動から不穏になり、物を投げる行為があつたため、制止し、エスカレートしないよう未然対応を行った。
大地	4件	4件ともに同一利用に対する身体拘束であった。2件は道路への飛び出しの制止、2件は破壊行為に対する制止であり、いずれも周りの騒がしさが原因で不穏となり、行為につながった。
ドリーム・だん だん	3件	3件ともに同一利用者に対する身体拘束であった。職員側としては配慮した支援内容であったが、本人にとっては理解しがたい予定変更・予測不可能な状況が見られたためか、不穏に繋がり、他害行為となる可能性があつた。そのため、行動制止を行った。
ハーモニー	5件	3名の方に対する身体拘束であった。いずれの利用者も不穏状態から他害行為に繋がる可能性があつたため、行動を制止した。
わになろう	3件	3件ともに同一利用者への身体拘束であった。不穏から自身の服を破り、それでも興奮が冷めず、職員へ向かい、服を破ろうとする・爪を立て引っ搔く・職員の指を力いっぱい曲げようとするなど他害が見られた。他の利用者、職員の安全確保のため職員数名で本人の身体を押さえ、行動を制御した。
といろ	1件	脳梗塞の疑いのため救急車を要請した。大事には至らず、点滴処置のみ行うが、頻繁に針を抜こうとしたため、本人と支援者が手を繋ぐことで行動を制止した。

※当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあり、それらについては身体拘束適正化委員会において、情報公開をしたうえでその必要性等の検討を行い、身体拘束の減少を目指して支援しています。

上記22件の身体拘束につきましても、安全確保のための行動であり、3要件に当てはまる ということを確認しました。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人又は他の利用者等の生命、身体、権利が危険にさらされる可能性が著しく高い
- 非代替性 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する方法がない
- 一時性 身体拘束その他の行動制限が一時的である

【虐待防止取り組み報告会】

法人内で設置された虐待防止委員会での取り組み内容について年に2回、報告会を実施しています。虹の会第三者委員3名と家族会代表者1名に参画を依頼し、利用者支援や職場環境、職員育成等に対して様々な意見や助言を受けています。

回	開催日	内容
1回	4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度取り組み報告 虐待防止委員会 外部研修等 ・意見交換
2回	10月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度上期取り組み報告 虐待防止委員会 外部研修等 虐待認定について ・意見交換

◆事故の発生状況

1. インシデント・事故発生件数

単位:(件)

事業所名	(車輿)	(怪我)	(物損)	(事務処理)	(生産活動)	合計
本部事務局	0	0	0	0	0	0
事務センター	0	0	0	3	0	3
わになろう	0	2	0	1	0	3
ひまわり生活の家	1	0	0	0	0	1
といろ	1	1	0	2	0	4
虹	1	0	0	0	0	1
コンパス・ホップ	3	0	0	3	0	6
ハーモニー	2	2	0	0	0	4
アイリス	3	0	1	0	1	5
大地	0	2	1	0	0	3
あんです	1	1	0	1	0	3
だんだん	3	3	5	1	0	12
マーブル	0	0	1	1	0	2
ぱれっと	0	1	0	0	0	1
合計	15	12	8	12	1	48

2. 事故 レベル

(1)事業所分類

単位:(件)

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	合計
本部事務局	0	0	0	0	0	0
事務センター	2	1	0	0	0	3
わになろう	3	0	0	0	0	3
ひまわり生活の家	0	1	0	0	0	1
といろ	3	1	0	0	0	4
虹	0	1	0	0	0	1
コンパス・ホップ	5	0	0	0	0	5
ハーモニー	3	0	0	0	0	3
アイリス	4	0	0	0	0	4
大地	1	2	0	0	0	3
あんです	1	1	0	0	0	2
だんだん	6	2	3	0	0	11
マーブル	1	0	0	0	0	1
ぱれっと	1	0	0	0	0	1
合 計	30	9	3	0	0	42

(2)種別分類

単位:(件)

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	合計
車輌	10	4	0	0	0	14
怪我(利用者)	5	0	0	0	0	5
怪我(その他)	4	1	0	0	0	5
物損	0	3	3	0	0	6
事務処理	10	1	0	0	0	11
生産活動	1	0	0	0	0	1
合 計	30	9	3	0	0	42

3. 事故レベル5以上の内容

◎令和6年度レベル5以上の事故発生はありませんでした。

※レベル説明

レベル1(インシデントレベル)

レベル2 怪我 念のため通院、物損・車両・生産活動等 何らかの不具合を生じた

事務・生産活動 何らかの不具合が生じ、関係者・関係機関等に謝罪を要した

レベル3 怪我 通院が必要(縫合・固定処置無し)、物損・車両 修理必要・保険処理等

事務・生産活動 何らかの不具合が生じ、関係者・関係機関等に丁寧な謝罪を要した

レベル4 怪我 全治14日以内(見込み)の縫合や固定等の処置や入院の必要等

車両・物損 相応の修理等必要、事務 苦情処理扱い等

事務・生産活動 関係機関・関係者に対して謝罪が必要かつ苦情となるもの等

レベル5 怪我 全治14日以上(見込み)の治療や固定等の処置や入院の必要

車両・物損 車両全損レベル、運転手・搭乗者の治療14日以上、故障・廃棄等

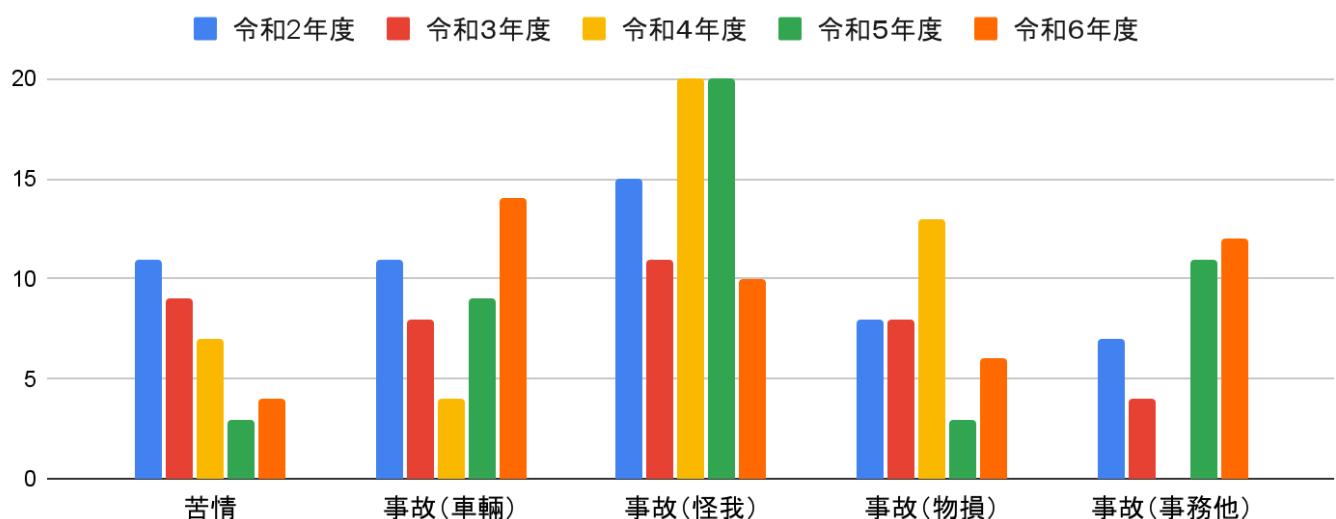
事務・生産活動 広範囲の関係機関・関係者に対して謝罪が必要かつ苦情となるもの等

レベル6 怪我 事故による死亡(原疾患の自然経過によるものは除く)、訴訟等

車両・物損 事故による死亡、訴訟等

事務・生産活動 法人・生産活動の信用失墜を招きその事故が原因で訴訟に発展

苦情・事故の推移(R1年度～)



◆法人研修(全体・階層別研修)

健康経営研修・障害者虐待防止研修を主軸に法人全体での研修を企画しました。

キャリアパスと連動した階層別研修(内部研修および外部研修)を計画に沿って実施することができました。

開催日	研修名	講師	対象
4月～3月	新人研修23回／全23回	管理職／主任	新卒・既卒採用者
4月	2年目研修 5回／全5回	管理職／主任	採用2年目職員
4月・5月	3年目研修 4回／全4回	管理職／主任／マイスター	採用3年目職員
4月～9月	階層別外部研修(滋賀県社会福祉研修センター等)	研修センター講師等	対象者22名
6月・10月	プラザーシスター研修3回/全3回	キャリアコンサルタント	プラザーシスター担当職員
7月・8月	安全衛生推進者養成講習	労働基準協会講師	担当者2名
9月	コンプライアンス・ハラスメント研修	糸谷社会保険労務士	管理職／主任
11月	法人全体研修	理事長/産業カウンセラー/NPO法人ミニケアホーム理事長	全職員
5月	管理者研修	事務局長	管理職昇格者
6月	指導者研修	管理職	主任昇格者
6月	数字力養成講座	事務センター職員	主任昇格者
6月	副主任として	管理職	副主任昇格者
12月	特定個人情報取扱研修(オンデマンド配信)	IT顧問	事務職員
2月	実践報告会	職員/専門職より講評	全職員
3月	個人情報保護法研修(オンデマンド配信)	IT顧問	全職員

◆事業所の状況(令和7年3月31日現在)

1. 事業所(1)

事業所名	年度	定員 (名)	契約者数 (名)	平均年齢 (歳)	平均区分	平均稼働率 (%)
ひまわり 生活の家 (共同生活援助 介護サービス包括型)	令和4年	30	24	47.7	3.1	72
	令和5年	30	26	48	3	73.8
	令和6年	30	26	49.3	3.1	76.2
といろ (共同生活援助 日中サービス包括型)	令和4年	10	10	58.7	5	98.2
	令和5年	10	10	59.5	5	98.5
	令和6年	10	10	55.7	5	97.5
といろ (短期入所)	令和4年	2	35	31.7	4.9	56.1
	令和5年	2	41	36.7	4.5	76.6
	令和6年	2	43	34.9	4.7	※127.7
ハーモニー (生活介護)	令和4年	20	24	44.4	5.3	96.3
	令和5年	20	26	45.7	5.4	99.9
	令和6年	20	25	47.4	5.4	98.5
アイリス (就労継続支援B型)	令和4年	34	32	43	—	84.3
	令和5年	34	34	43.4	—	82.7
	令和6年	34	36	44.6	—	87.5
大地 (生活介護)	令和4年	20	26	42.25	4.1	116.1
	令和5年	20	26	42.9	4.1	117.1
	令和6年	20	25	43	4.1	109.0
ドリーム あんです (就労継続支援B型)	令和4年	20	19	43.4	—	74.1
	令和5年	20	20	44.7	—	76.1
	令和6年	20	24	41.6	—	78.0
ドリーム だんだん (生活介護)	令和4年	28	36	45.5	4.3	101.9
	令和5年	28	37	42.9	4.4	100.5
	令和6年	28	35	45.1	4.3	95.3
マーブル (就労継続支援B型)	令和4年	20	16	45.11	—	64.2
	令和5年	20	16	46.9	—	58.3

	令和6年	20	16	48.1	—	55.6
ぱれっと (放課後等 デイサービス)	令和5年	10	5	10.8	—	23.3
	令和6年	10 (多機能型)	6	10.6	—	24.8
ぱれっと (児童発達支援)	令和6年	10 (多機能型)	3	4.3	—	8.2

※稼働率増加の理由は、長期短期入所の受け入れが特例的に発生したため。

事業所(2)

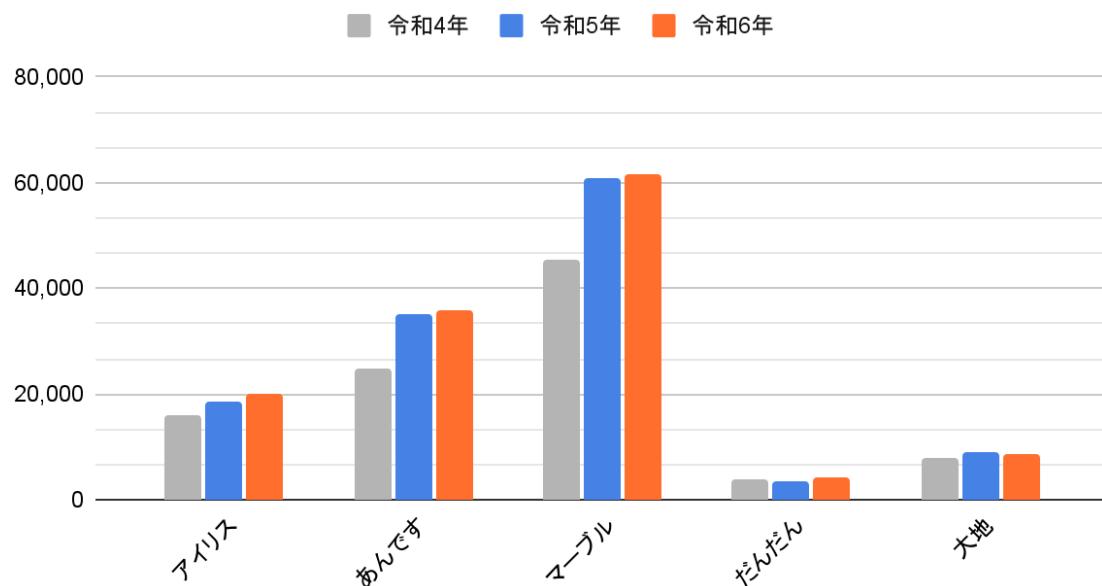
事業所名	事業種別	契約者数 (名)
わになろう	居宅介護 行動援護 重度訪問介護 訪問介護事業(共生型) 地域活動支援センター 移動支援 日中一時支援 24時間対応型利用制度支援(セーフティーネット) 福祉有償運送	35 51 0 3 30 55 22 — 208
計画相談支援センター虹	計画相談支援 (サービス利用支援・継続サービス利用支援) 障害児相談支援 (障害児支援利用援助・継続障害児支援利用援助)自立生活援助	213 7 0

2. 受託事業

高島市障がい者 相談支援センター コンパス	県委託	障害児(者)地域生活ネットワーク支援事業
		滋賀県精神障害者相談支援体制整備事業
		滋賀県発達障害者ケアマネジメント支援事業
		高次脳機能障害圏域ネットワーク事業
就労準備支援 ホップ	市委託	高島市障がい者相談支援事業
		発達障がい者支援チーム事業
就労準備支援 ホップ	市委託	生活困窮者等就労準備支援事業
		参加支援事業
		アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

3. 就労支援事業

事業所名	年度	契約者数 (名)	就労支援事業収入 (円／年)	平均工賃 (円／月)
アイリス (就労継続支援B型)	令和4年	32	9,739,965	16,105
	令和5年	33	10,299,797	18,654
	令和6年	36	15,467,893	20,003
ドリーム あんです (就労継続支援B型)	令和4年	19	34,624,987	25,017
	令和5年	20	36,062,114	35,122
	令和6年	24	35,767,611	35,791
マーブル (就労継続支援B型)	令和4年	16	9,427,278	45,371
	令和5年	17	10,828,503	61,012
	令和6年	16	13,585,406	61,640
ドリーム だんだん (生活介護)	令和4年	36	2,211,297	3,773
	令和5年	36	2,140,012	3,602
	令和6年	35	2,182,602	4,217
大地 (生活介護)	令和4年	26	4,384,590	8,095
	令和5年	26	3,715,120	8,915
	令和6年	25	3,868,399	8,701



◆地域における公益的な取組の状況

1. 地域における公益的な取組

地域における公益的な取組事業	実施内容
はたらく体験	実人数は12名、延べ実施回数は299回。ひきこもりの人の社会参加支援という観点から効果は大きいと考えています。今年度の体験メニュー(主なもの)は以下のとおりです。 ・事務作業(印刷・資料組み等) ・食洗作業(ミズカフェコッコ内厨房等) ・高島市内の端材を有効活用した玩具の加工作業(積み木) ・清掃、片付け等の軽作業
虹カフェ	平日9:00～17:00、通年で運営しました。実人数は60名、延べ利用者数は296名でした。働きづらさを抱える方々の居場所として、法人内の空きスペースを開放する形でスタートして7年。現在では、医療、保健、福祉、教育分野等さまざまな支援機関から、問い合わせが来るようになりました。

2. 話題提供および視察研修の受け入れ状況

- ◎令和6年6月27日 高島市議会文教福祉常任委員会にて、ふれホップの取り組み説明
- ◎令和6年7月4日 滋賀県守山市のひきこもり支援団体「レリーフ」の視察研修にて、ふれホップの取り組み説明
- ◎令和6年7月18日 京都府京田辺市からの視察研修にて、ふれホップの取り組み説明
- ◎令和6年8月7日 滋賀県長浜市社会福祉協議会との情報交換会にて、ふれホップの取り組み説明
- ◎令和6年9月2日 つながり応戦センターよろず主催「つながり応援支援者ネットワーク会議」にて、話題提供
- ◎令和6年10月3日 高島市小中学校生徒指導担当者・教育相談担当者連絡協議会にて、ふれホップの取り組み説明
- ◎令和6年10月4日 長野県塩尻市からの視察研修にて、ふれホップの取り組み説明
- ◎令和6年12月19日 高島市主任介護支援専門員研修にて、ふれホップの取り組み説明

◆各事業部からの報告(別紙)

○本部事務局

○事務センター

○第1事業部

(アイリス、マーブル、大地)

○第2事業部

(ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん)

○第3事業部

(ハーモニー、わになろう、ぱれっと)

○第4事業部

(ひまわり生活の家、といろ、計画相談支援センター虹)

○第5事業部

(高島市障がい者相談支援センターコンパス、ホップ)

令和6年度事業報告書



〒520-1521 滋賀県高島市新旭町北畠45番地
電話 0740(25)8220 FAX 0740(25)8221
ホームページ <http://www.shiganijinokai.net>
メールアドレス info@shiganijinokai.net